

令和7年度 学校関係者評価実施用紙（まとめ用）

学校番号	8	学校名	静岡県立菫山高等学校	校長名	三枝 美保子
------	---	-----	------------	-----	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

※1：生徒アンケート結果、※2：保護者アンケート結果、※3教員アンケート結果

成果目標及び達成状況の数値は校内アンケート調査で「あてはまる・ややあてはまる」と回答した割合（%）

取組目標	成果目標	担当部署	達成状況	評価	関係者評価	成果と課題	意見
ア 自ら学ぶ力の育成（新課程入試改革への対応、読解力の向上）	平均家庭学習時間／2時間半以上 自主的な学習への取組／80%以上 ※1※3 部活動後の速やかな下校／100%※1	教務生徒	平均家庭学習時間／1年生114.4分、2年生99.8分（6月の平日学習時間） 自主的な学習への取組／81.7% 部活動後の速やかな下校／88.8%	B	B	全体としては、個々の生徒が文武両道を念頭に置き、努力している。	部活動や学校行事、地域活動の時間を取りつつ学習時間もある程度取れているように感じる。生徒ひとり一人の「1日の時間の使い方」がうまく使えているように感じた。家庭以外の学習時間と両方で見ても十分であれば目標設定自体を次年度から変更してもよいのではないかと。
	大学訪問（東大、順天堂大）の満足度／85% 理数科・文系探究コース研究施設研修の満足度／85%	進路文探・理数	東大訪問満足度／100% 理数科（地球科学研修95%、情報処理研修98%） 文系探究コース／伊豆半島研修99%	A	A	東大訪問は生徒の意識付けに役立っている。 理数科・文系探究コースについては、次年度も日程を調整して実施していきたい。	大学などの研究に触れる機会はとても大切だと思うので、引き続き実施するとともに、可能ならば他大学や他研究などの他の選択肢もあるとよい。
	講習に参加し学力がついた／85% 難関大学35人、国公立大学170人以上の合格	進路	講習に参加し学力がついた／83.2% 大学入試結果は年度末に報告	B	A	講習参加者の意欲は高い。3年生の進学に向けて、最後まで粘り強く指導を行う。	1・2年生の参加率をもう少し上げたい。 土曜講習で学校に来る機会があることは良いことである。生徒が勉強しなければいけないことを理解させることが必要。
	授業理解度（よくわかる）／92%※1 授業公開や研修の機会を活用するなど授業改善に取り組んでいる／90%※3	教務広報・研修	授業理解度（よくわかる）／93.0% 授業改善へ積極的に取り組む姿勢／92.3%※3	A	A	授業理解度の令和5年度との比較では、微増ではあるが1.5%増である。教職員の意欲的な教材研究への取組が成果を結んで	アンケートからも先生方の授業への準備の時間が取れるようになったことが伺えた。

様式第5号

		校外の発表や競技会に参加し、入賞する。	文探・理数	日本地球惑星科学連合大会にて奨励賞・佳作、山崎賞にて優良賞、富士箱根伊豆学会にて優秀賞、理科研究発表会東部大会にて最優秀賞。科学の甲子園県4位。文探も2班が外部の研修会や発表会に参加。	A	A	いる。 校外の発表会等への参加に消極的である。情報がきて締め切りまでの日があまりない場合もあるので、昨年の内容で4月に紹介するなどしていきたい。	校外での発表の機会があることはとてもよい。
イ	自己実現力・自己肯定感の涵養	自律心の育成／90% ^{*1} 学校生活満足度／90% ^{*1} 学校への満足度／95% ^{*2}	生徒(教務)	自律心の育成／91.8% 学校生活満足度／91.7% 学校への満足度／96.8%	A	A	個々の生徒が高い目標を持ち、充実した生活を送ることができる。保護者の満足度は昨年より2.1%増である。	生徒、保護者の満足度の高さは、是非中学生にも伝えたいが、どのように伝えるかが難しい。
		健康管理に係る各種講座満足度／95% ^{*1} 欠席・遅刻の削減 新体力テスト／最優秀校	保健 保健体育科	薬学講座において、概ね理解できた、理解できたと答えた割合100% 欠席遅刻については学年部ごと多少の違いはあるが、生徒に寄り添う指導・対応することで改善に向かっている。 新体力テストは男女とも最優秀校であった。	A	A	インフルエンザ感染症等の影響から軽い体調不良でも欠席するケースがある。 健康管理のために休むことと休まず登校することのバランスをどう考えさせるかが、課題である。	新体力テストが男女共に最優秀校となったことはすばらしいこと。 日々の生活習慣や体力づくりなどに関心が深まっている証拠と思う。
		仲間や周囲への思いやり度／95% ^{*1} 相談できる教職員の存在／90% ^{*1, 2} いじめへの速やかな対応、体罰0件	保健 生徒	仲間や周囲への思いやり度／97.7% 相談できる教職員の存在／生徒87.2%、保護者77.4% いじめについては認知も含め速やかに対応できた。体罰0件	B	B	他者への思いやりについて、自己意識と実際の言動が異なる場面があるため、コミュニケーションスキルの習得方法を検討する。	どちらかというに進路指導に近いが、保護者と担任の面談の機会がもう少しあるとよい。 アンケートから「先生と進路や学校行事のことを話すことができる」のポイントが下がっている。 社会に出てもコミュニケーション力は大事。 高校の時から培っていききたい。 コミュニケーションスキルの習得は大切なのでぜひ検討して欲しい。特にSNSの利用時

様式第5号

							間について調査も必要かもしれない。 いじめについては、アンテナを高くして対応していただきたい。			
		自転車事故／前年より削減 交通安全意識の高揚／100% ^{*1}	生徒	自転車事故は4件（昨年度2件）であり増加した。 交通安全を意識して登下校している生徒の割合／98.5%	B	B	更なる啓蒙活動を実施する。 自転車通学は、それだけでリスクがあることなので装備やスピードなど時々確認の機会があるとよい。			
		進路意識や国際感覚を高める行事実施後の満足度／95% ^{*1} 将来の進路の明確化／75% ^{*1} 医学系セミナーの満足度／90% ^{*1}	進路グローバル（総務）	大学WEBガイダンス満足度／99% 職業レクチャー満足度／99.6% 将来の進路の明確化／76.2% オンライン英会話満足度／93% イギリス語学研修満足度／85% 医学系セミナー満足度／100%	A	A	大学WEBガイダンスは参加希望者が多く、意欲も高い。 職業レクチャーや大学レクチャーについては、引き続きPTA組織も連携して運営を行っていききたい。 県指定の医療系育成事業で行った医学系セミナーは大変好評であったため、次年度も継続して実施する。	企画を継続するだけでなく、OB（大学生）を活用して、もう少しラフに大学の様子や受験の経験を気軽に聞ける場もあるとよいのではないかと。 生徒の選択肢を増やせるので、これからも続けて欲しい。 レクチャーによって各々の目標が明確になっていくので、ぜひ継続してください。満足度も高くてよい企画である。		
		部活動に積極的に参加している／90% ^{*1}	生徒	部活動に積極的に参加している／85%	B	B	若干であるが、消極的な部や生徒が増加した。	部活動以外の学外の活動参加などが理由であればこの項目自体は問題ない。		
ウ	帰属意識の涵養とリーダー養成	規範意識のある生活／98% ^{*1} 自律心の育成／90% ^{*1} 挨拶の励行／92% ^{*1*2}	生徒	日常のマナーを意識して生活している生徒／99.1% 自律心／91.8% 挨拶の励行／89.4%	A	A	生徒が自主的に活動できる環境を整えるとともに、コミュニケーション能力の向上を図る。	日常マナーの大切さなど引き続き御指導願いたい。		
		諸行事への自主的参画／90% ^{*1}		自主的に参画／93.6%				A	A	引き続き生徒が主体的に活動できるよう御指導願いたい。
		本校行事・活動の一体感／90% ^{*1} 仲間や周囲への思いやり度／98% ^{*1}		一体感を感じた／93.7% 仲間や周囲への思いやり／97.7%				A	A	学校行事の活性化等引き続き御指導願いたい。
		志龍塾実施後の満足度／95% ^{*1}	広報・研修	蕪高出身の各界の著名人の講演が実施でき満足	A	A	次年度も満足度の高い講演会を企画したい。	双方にとってメリットのある事業だと思う。		

様式第5号

		卒業生OBの講演等の機会を効果的に設けている／85%※3	進路 (総務)	度も高かった。 卒業生OBの講演等の機会を効果的に設けている／75%	B	B	引き続き、職業レクチャー、志龍塾、医学系セミナー等の機会に卒業生に講演等を依頼していきたい。	講演等の機会が多いが効果的に設けているという割合が目標値に対して低いのはなぜか。
エ	学校・家庭・地域の連携	地域活動（ボランティア、防災、探究活動、部活動等）に参加する生徒の増加／40%※3 地域貢献に取り組む部活動の増加	生徒 (総務)	地域活動に参加した生徒の割合／52.5% 防災訓練参加者9%（75名）	B	B	多くの部活動が地域行事に参加した。また、地域を舞台にした探究活動も多かった。しかし、防災訓練の参加率を上昇させる必要がある。部活動の地域貢献について、他の活動との兼ね合いが難しいが、地域に貢献できるように指導する。	いろいろな形で地域との関係を深めることは大切。機会を増やすとよい。 学校生活が忙しい中で地域活動に参加できていること自体が素晴らしい。 地域活動の体験が将来のヒントにもなるので大切な活動である。
		ゴミ分別の徹底 トイレ清掃不足による苦情0	保健 (総務)	ゴミの分別違反、トイレの清掃不足に関する苦情を減らすことができた。	B	B	教室棟トイレの改修工事が1月中旬にすべて終了した。日々の清掃を徹底させ、さらに専門業者による定期的な清掃の実施を依頼したい。	新しいトイレ等清掃方法を工夫している。
		HPの月間更新回数／平均3回 Facebook等の月間更新回数／5回以上	広報・研修	HPの更新回数3回/月 Facebookの更新回数15/月	A	A	ホームページ等を有効活用し、魅力ある情報の発信をしていきたい。 学校新聞、龍城学報の継続した情報発信に努め、学校や生徒の取組を発信しつつ家庭との連絡に資するようになりたい。	アンケートから、効果が少しずつ現れているように感じた。 一般、多くの人に知ってもらえる場になっていると思う。 Facebookの更新は地域のステークホルダー向けであれば有効だが少しずつ親世代の使用するSNSも変化しだしていないかが気になる。 更新回数は多い。 中学生がSNS等を通じて学校を選ぶ時代になったが、入学後もここでよかったと思えるようにしたい。

様式第5号

	新聞3回以上、龍城学報50回以上/年間 学校新聞等の閲覧(生徒)/82% ^{※1} 学校新聞等の閲覧(保護者)/86% ^{※2} 家での学校についての会話/88% ^{※1}	広報・研修	新聞3回 龍城学報62回 学校新聞の閲覧(生徒)85.9% 学校新聞の閲覧(保護者)91.0% 家での学校についての会話86.9%	A	A		紙面で紹介できること(配布することができる)も目に触れる機会が多い。
	一日体験入学やオープンスクール参加者(来校者)の満足度/90%	教務	参加者(来校者)の満足度/中学生91%、保護者88.7%	A	A	概ね満足して頂いた。	これからも満足度が高くなるように企画していただきたい。
	他の教職員と連携し、組織的に活動している/95% ^{※3}	管理職(分掌長/学年主任)	アンケートの結果97.5%(昨年度94.3%)であった。	A	A	次年度も協働により職務を遂行していきたい。	アンケートの結果も向上してよい。
教育活動の基盤となる教育環境の充実	ICT機器の活用/90% ^{※3}	IT(広報・研修)	授業でICT活用した教員は87.2%。校務での利用は100%。校務支援システム「Cラーニング」、採点支援システム「百問繚乱」の活用により業務の効率化を図ることができた。	B	B	次年度もICTのより良い活用を実践していきたい。	ICTの活用実績が向上している。考える力をどのように伸ばしていくかが課題なので、今の時代に合った授業づくりをお願いしたい。
	年間一人あたりの貸し出し/3冊以上 図書館利用生徒の増加	図書	12月24日現在、全体平均は3.1冊で平均値は達成した。早朝も含め利用者は高い水準で継続中。	B	B	図書館利用者は例年並みである。貸出利用者は一部に偏っている。全員が1年に1冊は借りてほしいが、中々難しい。	本の貸し出しは難しいが推奨はして欲しい。
	適切な会計処理の励行と不祥事0件 学校経営予算1月末予算執行率/70%以上	事務	監査及び会計指導検査指摘事項なし 不祥事0件 予算執行率80.1%	A	A	適切な会計処理及び不祥事0件の継続を目指す。	引き続きお願いしたい。
	不祥事0件 積極的に研修を実施/100% ^{※3} 教員公務員としての自覚/100% ^{※3}	管理職	不祥事等が皆無ではなかった。不祥事根絶研修は県下の教職員不祥事発生時に必ず実施した。	B	B	保護者や地域の意見等にも耳を傾けつつ日々不祥事根絶の意識を持っていきたい。	引き続き不祥事根絶に向け取り組んでいただきたい。

様式第5号

				教育公務員としての自覚は100%であった。				
		健診受診率／100% ^{※3} 健康管理意識の向上 ^{※3} 夏季休暇の完全取得者／100% ^{※3} 職員の時間外勤務時間の月平均が45時間以下	管理職 保健	健診受診率／100% 夏季休暇完全取得者92.9%（昨年94.8%） 12月までの時間外勤務時間の月平均が45時間以下の教員／41.5%（昨年43.1%）	B	B	夏季休暇取得率の向上に向けた呼びかけや時間外勤務時間の削減に向けた仕事負担軽減に努めていきたい。	教職員の健康管理は大切である。